

令和4年度

市長と地域自主組織連絡協議会との意見交換会

報告書

開催日時	開催町	会場
7月26日(火)	市連絡協議会	雲南市役所
9月15日(木)	掛合町	掛合交流センター
10月4日(火)	加茂町	加茂交流センター
10月7日(金)	吉田町	吉田健康福祉センター
10月28日(金)	木次町	木次総合センター
11月2日(水)	大東町	大東総合センター
11月4日(金)	三刀屋町	三刀屋交流センター

政策企画部広報広聴課

※市長と地域自主組織連絡協議会との意見交換会を行いました。内容は特にテーマを設けず、地域づくりや地域の課題について市長と意見交換しました。

雲南市地域自主組織連絡協議会と市長との意見交換会

【日時】

令和4年7月26日（火）9:30～11:00

【会場】

市役所5F 全員協議会室

■意見交換

ご意見) ローカル鉄道のあり方検討会。有識者で提言をまとめられた。木次線利用促進にも取り組む必要がある。提言に対してどのように考えているか。

市長) 今回の提言は基準をつくったものではなく国が前面に立って JR と地域で話し合う場をつくっていくということ。自治体は廃止を前提とした会議には参加しない。より利便性の高い利用促進に取り組むための検討の場であれば参加する。期待をする一方で、廃止のための手続き論のようなカタチになるのであればいけない。

ご意見) 木次町木次地区にある市の施設について。旧市役所本庁舎、分庁舎、青少年ホーム2F使えず、広い会場で使えるところが少ない。遊休施設の活用についてどのように考えているか。

今年度ハザードマップ配布。配布だけで説明等なかった。八日市については、5m以上の浸水区域が半分以上。住民からはどこに避難すればよいかという声あり不安を感じる意見があるので避難場所等について説明をして欲しい。

市長) 旧本庁舎は再利用が難しく撤去の方針。地元での利用等がなければ処分の方針。木次体育館、大東体育文化センター、掛合体育館が古い。耐震して使えるかを今年度調査。使えるものは機能を再生して活用していきたいと考えている。施設のトイレについてのご意見もいただいている。現在洋式化に取り組んでいるがしばらく時間がかかる。使い続けるために必要な修繕や改修は取り組んでいく。

市長) ハザードマップでは、市内で安全な場所はないような印象を受ける。県の施策としてまずは危険度を示すということ。対策がない中で危険度だけを示してどうなるかということも県にも意見している。避難所への避難だけでなく自宅等での垂直避難や地区外への避難先も考えていく必要がある地域と話し合いながら進めていきたい。

ご意見) 改めて公共施設のあり方を今一度検討してほしい。ハザードマップは、3m以上の浸水のところは都市計画区域から除外する、それ以下は指定するとのこと。央道湖の水深も同じくらい。護岸工事なども並行して実施すればだが、そのようなところを都市計画の区域にするのは問題があるのでは。こうした中で対策を根本的に考える必要がある。

ご意見) 浸水区域とレッドゾーンだらけという現状。住民のみなさんは不安になる。5mの浸水は、家庭での垂直避難では対応できない。

市長) 市内は安全なところが少ない。治山事業などに取り組んで行く必要がある。中山間地域で住み続けるためのリスクの軽減対策が必要。

ご意見) R3年7月豪雨の復旧工事について。復旧工事は「災害前の形状への現状復旧」を基本としているが、現状復旧だけでは対策が不十分な個所も多い。今後の災害に備え道路を付け替えたり農地の取水口の変更などを行なっては。現状復旧だけではない改良の復旧についても対応してほしい。

指定管理制度について。業者や地域に仕事を与える発想であればよいが、指定管理に出すことで「安上がりになる」という発想であれば長く続かない。温浴施設やスポーツ施設も、利益を上げることは難しく指定管理の引き受け手がなくなる。

指定管理料等、行政として指定管理者への血の通った対応をしてほしい。温浴施設等は、地域が身銭を切って取り組むことになってはならない。推進するのであればなにか手当を。

市長) 災害復旧については改良復旧もある。改良復旧をする箇所は市内で3カ所。改良復旧については、既存事業と連動している場合には実施しやすいが、計画がない場合には時間がかかる。災害復旧は早く現状に戻せることがメリット。どちらをとるかということになると早期にできる現状復旧を選ぶことになる。

市長) 指定管理の基本的なスタンスは「公共施設は使われて効果を発揮する」ということ。コスト削減ということよりも活用促進のために地域や民間などへの指定管理を進めるという考え方。使用料も現状でよいのかという点なども検討の必要がある。道の駅については、再生計画も進めている。指定管理でなく委託により管理という施設も有り得ると考えている。

ご意見) 吉田地区では、高齢化率が50%に達している。交流センターを含め公共施設のトイレの洋式化を計画的に進めてほしい。

市営住宅の家賃が全般に高いと感じる。三刀屋や木次より条件が悪いので、家賃に差をつけてほしい。地元へのUターンを希望しても、選択肢は三刀屋や木次になるので地域に人が留まるための方策検討を。仕事場は中心部でもよいので居住は周辺部にも住んでもらえるような対策を。空き家の活用も必要だが、市営住宅の整備が必要と考える。

自主組織役職員の後任がない。子育て世代を雇えるような賃金体系ではない。定年も伸び、退職後に自主組織の事務局に入るとしても高年齢になってから。若い人に入ってもらうような仕組み、人件費確保の方策を検討してほしい。

市長) トイレの洋式化については計画的に取り組む。

市長) 住宅施策は人口維持に重要。街部では住宅団地のストックが切れている状況。周辺地域での住宅対策についてはこれから具体を検討し力を入れていく。

市長) 自主組織の人材の確保については定年延長でさらに難しくなる。ご意見は以前からいただいており、どういうカタチがよいか検討を進める。課題は認識している。給与水準等も含め検討する。

ご意見) 周辺部では集落がなくなる懸念も。民谷は、塩田に続いて人口規模が2番目に小さい。もっと具体的な対策ができないのかと思う。住みたい田舎No.1になったということもあるが実感はない。外部からの人材還流等も必要ではあるが、地元の若い人が住めるような取り組みを求める。

市長) 抜本的な対策難しいところもあるが、まずはインフラ整備が重要と考えている。過疎という言葉ができて60年くらい経つ。なんとか逆転に向けて進めたいという思いは常に持っており県や国への働きかけもしていく。

ご意見) 職場の確保が重要。先般、波多地区では1つの自治会が消滅した。定住対策を何もしていないわけではないが少子高齢化はますます進展。雪の多い吉田・掛合では人口減少が顕著。若い人は勤めがあり日中の会議等に対応することは難しい。市の会議等も夜や休日の開催など検討の必要があるのでは。道路の草刈りも担い手がない。高齢になり、自治会の道路愛護作業をシルバー人材センターにお願いされる方も増えている。

市長) 人口対策はなんとかしていきたい。東京への一極集中という時代は変わってきている。ネット環境の充実により地方への居住の可能性も高まっている。根本として、人の価値観を変えていくことが最も必要。子ども達がなにを大切にするか。「成功・大儲け」から「安心・豊かに暮らしていく」という考え方への変革。そうしたことに気づいてくれる子どもや若者を増やしていくこと。人権意識も重要で人づくりにも取り組んでいく。

市長) 草刈りは大きな課題。一方で草刈りこそが自治会の原点とも考えている。続けていける方策と一緒に検討していきたい。

ご意見) 草刈りについて過去には、地域の若者たちが取り組んだ後慰労会等をしていた。様々な担い手で上手く回す方法を考えていく必要がある。吉田町と掛合町で3年間で30人しか子どもが生まれていない。学校の存続も危うく周辺部があるからこそ中心部が栄える。

ご意見) 安全な場所でないところに住宅が建つこともある。治水はお金がかかるのでなかなかすぐにということにはならない。少しでも安全なところに住むということも考えていく必要がある。

市長) 状況によっては居住誘導区域の設定などもありうる。検討していく。

ご意見) 定年延長などの影響により、自主組織の仕組みを存続させるには、今の賃金体系では困難。若い方が職員となり長い間取り組めるような仕組みの検討を。

海潮の指定避難所は中学校の体育館と交流センターがあり、トイレの洋式化を計画的に進めて欲しい。避難者には障がい者や高齢者や子どもがいる。体育館よりも交流センターの方が避難しやすい。交流Cセンターを最優先の避難所として重点的に整備してほしい。

市長) 自主組織職員のみなさんの賃金については先ほどのとおり。しっかりと検討していく。財源面等から、一度に加算するという事は難しいことも理解いただきたい。

市長) トイレの洋式化についてはご意見を受け止める。避難所については地域で状況が異なる。地域からもご意見やアイデアをいただきながら、一律ではなく個別に対応していきたいと考えている。

ご意見) 小中一貫学園化構想について。3年前から話が出てきたが、メリットとデメリット、教育上必要なのか学校経営の面で必要なのか、一般の方はこの話をほぼ理解していない。地域自主組織から地域に説明することは難しい。

市長) : 学園化構想は学校統合の話ではないが、誤解を招きやすい名前になっているところ

がある。ポイントは、小中の先生や地域が連携し小中が一体となった教育を行っていくこと。高校も含めて考えていくとよい。周知が不足しているところがあるが浸透させていきたい。あくまでも子ども達の教育の質の向上を目的とした施策。

ご意見) 教育委員会からの説明で、小中一貫校の玉湯学園の話が出てくるので、誤解を招く。小学校と中学校はすでに連携をしておりあえて学園名を考える必要はないのでは。
ご意見) 不登校対策ということも説明があった。小学校から中学校の変化を緩やかにすることも目的。高校と連携していく必要がある。小中での一体的な教育自体は良いこと。
ご意見) 中学校の部活。部活の地域移行の方向性が示されている。具体的な考え方は。

市 長) 学校の部活の社会体育化は推進すべきと考えている。日曜日の部活の地域クラブとの合同練習、複数校合同での部活ということもありうる。少なくとも1校のみで部活を維持することは難しい。その受け皿の一つとしてクラブなど、地域の活動も。どうやって通うのかというようなことが大きな課題となる。学校を守りながら子どもたちのできることを増やすことが重要。

掛合町地域自主組織連絡会議と市長との意見交換会

【日時】

令和4年9月15日(木) 18:30~20:15

【会場】

掛合交流センター

■意見交換

ご意見) 掛合地区内地域に危機感がない。(地域に小中高校等があるから)「掛合の里」をどうするのか、特産品をつくるべきではなど課題はあるが手間がなくなってきている。

農地山林の荒廃が進んでいる。

ご意見) 地域自主組織のあり方を市全体で考え直さないといけない時期に来ているのではないか。若い人の参画が必要だが、賃金・雇用が不安定であるため参画してもらいにくい。定年を過ぎた人に頼むこととなり地域の活力が湧かない。

市長)掛合の里再生計画を策定するため、コンサルに発注。市には4つの道の駅があるが、木次・掛合は先行している。人が集まる場所となることで、特産品を売るための場所を地域の皆さんが活用できるようにしたいと考えている。

農地山林の荒廃は市全体の課題。条件の良いところは耕作されるが、悪いところは借り手がみつからない。地区ごとにどの農地を残していくか計画を作っているところ。

市長)地域自主組織については、様々な課題があると認識している。幅広い世代が一緒になって活動できることが理想。

ご意見) 掛合体育館の今後について。雨漏り・床の傾斜やトイレが古く利用しにくい。住民が少ないからなくす発想ではいけない。田部グループが竹下本店の譲渡を受けてお酒造りをされるが気軽に寄れるまちづくりが必要である。

少子化について。掛合小学校1~6年で20人を超える学級がない。中学校は部活動存続の危機。中学校の統合、部活動の地域移行についてはどう考えるか。

市長)体育館については今あるものをできるだけ生かして使いたい。掛合体育館については、耐震診断検査を予定している。コンクリートはもつが、天井・屋根は古い。木次・大東も同時に検査している。

田部グループ社長と意見交換した。今後は近代的な工場を作り、竹下本店はカフェに。醸造の町にしていきたいコンセプトを持っているとのこと。

学校について。学校は地域の核、統合は極力しないほうがよい。小規模であることのデメリットはあり学校統合は要望があれば進めるが行政が統合を進めない。

部活動の地域移行については雲南市が県内で一番先行して取り組んでいる。課題はあるが生徒がやりたい競技ができる環境づくりが必要。地域のスポーツとして、成年のクラブと縦のつながりがあればと思う。例えば複数校で部活動を成立させたい。部活動のために地区外の学校へ行く状況もあると認識している。

ご意見) 市道の草刈りについて年3回やっている。数年前から参加者が減っている。欠席する場合、代わりの人に出してもらうようにしている。代わりがいない人はシルバー人材センターに頼んでいる。高齢・低所得のところは大変であり地域での草刈り環境維持が難しくなっている。管理をどこかへ一括してお願いすることを考えてはどうか。

R3災害によりがけ崩れがあった。それ以前に3か所崩れていて、土砂撤去後大型土嚢が設置されているが早期に復旧工事をして頂きたい。

市長)草刈りについて生活道については地域にお願いしている。市ですべてやるととても経費がかかる。地域での草刈り維持が難しい事は多くの地域から頂いており、複数の自治会で実施する、ボランティアを募るなど検討中。

地域要望・市政への提案箱の起案は徹底的に見ている。“できない理由”ではなく、“なんとかできないか”何度も起案を担当部署へ返している。いかに、住民の声を汲んでつなげていくかということをやりはじめたところ。丁寧に対応することが必要。去年の災害復旧に関し発注はしたが、建設業者の業務ひっ迫により入札不成立の状況が出始めている。

ご意見) 空き家と高齢化について。空き家と高齢化は同じ問題。空き家への入居について、マッチングが必要。入っていただく方が地域に溶け込んでいく必要があり、いい方法があれば教えてほしい。

龍頭が滝の整備について参道は古く危険箇所がある。松笠地区だけでなく市のものである。農地について耕作放棄地増えているが課題である。圃場の状態の良いところでない借り手が見つからない。条件改善のための補助をしてほしい。

大雨の際の防災無線について。先日、AM3 時ごろに「警報解除になりました」の放送があった。夜中の放送ではなく朝 6 時くらいでもいいのではないか。

R3 災害復旧について、川の護岸が先行して施工されている、生活道路を優先してほしい。

市 長) 空き家について。移住者が定着できるよう情報提供したい。

龍頭が滝整備について。県の事業を活用し実施している。多くの方が来ており地域資源として生かしていきたい。

条件の悪い農地の整備について小規模の助成事業検討中。土地改良を進めていく仕組みづくりをしたい。防災無線については検討させる。

道路の災害復旧について。県管理河川の発注が先行している。基本は道路の応急復旧が一番そして本復旧である。

ご意見) デマンドタクシーについて。停留所まで行かないと乗れないところあり。

マイナンバーカードについて。もう少し先進的に取り組むべき。

ワクチン接種については特に高齢者に接種を受けるべきかどうかから相談にのるべき。

少子化については出生者数を確保するしかない。

耕作放棄地について。少人数でも管理できる農地が必要。まわりを全部車が通れるようにするなど。農地などはこれまでのような整備計画でなく、10人でやっていたものが1人でもできるくらいしないと農地も森林も守れない。

市 長) デマンドタクシーについて。調査研究したい。

マイナンバーカードについて。雲南市は交付率が県内最低。出張サービス等に取り組んでいる。ワクチン接種について。予約が取りにくくご迷惑をかけている。地域自主組織でお手伝いや説明で協力いただいている。できるだけ配慮していきたい。

少子化について家族ごと移住してもらえようなことを具体化し、積み重ねていく。ミニ団地造成にも取り組んでいる。

ご意見) 入間から直接雲南市立病院へ行けないのか。入間の皆さんは入間で気持ちよく生活してほしいと思っている。

掛合分校の停留所について。加茂スマートインターチェンジ開通後、停留所を佐中バス停へ運ぶとのことだったが、1か月経つがどうなっているのか。

地元の学校を出て実家から仕事に通っている子は貴重だと思う。地元に戻ってきた若者にも何か手当があってもいいのでは。地域づきあいが嫌になり出ていく若者もいる。入間から掛合診療所まで行くのが高齢者には大変である。地域にあったやり方で考えてほしい。

市 長) 掛合分校の停留所について。加茂岩倉バス停の移転。年内には対応したい。(移転済)

デマンドタクシーについて。持ち帰らせていただきたい。

中山間地域の物流研究始めたところ。

草刈りについて、市の管理のところも十分ではない。課題であり、次の制度を考えている。リモコンの草刈り機を貸出できないかなど。

少子化について。地元にいる若者に対し、経済的なインセンティブはない。就職先が見つかるような情報提供などアイデアを聞きたい。

ご意見) 地域に子どもがいない。都会ではひとり親世帯の生活が大変だという。地域でフォローすることをひとり親世帯・低所得世帯へアピールし転入につなげては。HPがわかりにくい。

市 長) 雲南市は子育てしやすいことをアピールしている。ひとり親をターゲットにしているが、UI ターンで8人世帯が転入されることもあった。

ご意見) 子どもを遊ばせようと思っても遊具に全部テープが貼られており、使えるところがない。せっかく自然があるのに遊べる環境がないと定住につながらない。

市 長) 公園の遊具について、全部把握するように指示している。管理の担当が分かっているが、計画的に修繕等していく。

小学校について昨年度「使い道自由の予算」を付けたところ、結構遊具を買われた。ご意見はしっかり受け止めたい。

加茂町地域自主組織連絡協議会と市長との意見交換会

【日時】

令和4年10月4日（火）19:00～20:40

【会場】

加茂交流センター

■意見交換

ご意見) 7項目質問させていただきたい。

1. 加茂町の河川の状況について

上流から土砂が流れてきており堆積している。以前は住民に草刈りをしてもらっていたが、少子高齢化によりできなくなっている。建設部に依頼するが「県は基準に達したらやる、県へ要望する」となかなか実施してもらえない。合併後ほとんど土砂撤去等が実施されていない。

2. 赤川の河川改修は終わったことになっている。昨年のような災害に耐えうるようなものになっているのか。39年災害復興のための設計で今の災害に堪えられないと思う。県・国と協議しているのか。

3. 加茂スマートインターが供用開始されたが、利用頻度を上げていかなければならない。企業団地も含め、今後の活用をどのように考えているのか。利用頻度を上げるため、企業誘致等に対する考えは。また、サービスエリアのテーマパーク化などにより誘客を増やす考えはないか。

4. ※「b&g うんなん」が加茂ラメールにある。吉田・掛合からは来られない。重要なものならば全域へ広げていく必要があるのでは。

5. 教育資金貸付制度が加茂町にある。以前、議会で全市に広げる考えはないかと一般質問もされた。答弁として「全市に広げることはない」と回答されていたが、結果加茂町のみで引き続き実施することとなった。大事なものであるなら全市で取り組むべきではないか。

※「b&g うんなん」：家庭環境や経済的理由などさまざまな事情により家で過ごすことが困難な子ども達が、放課後から夜間までの時間を過ごすことができる拠点として日本財団が支援整備を進めている「子ども第三の居場所」。雲南市では㈱キラキラ雲南が市から委託を受け、平成31年4月にラメールで事業を開始している。

6 消防後援会について

加茂町・大東町・木次町には消防後援会がある。住民から集めたお金を消防団活動に活用されている。消防備品等を後援会経費で揃えているなら、本来は行政で整備すべき。

7. 国道54号について

虫食いの的に沿線に商業施設等が立ってきている。公共用地の先行取得の考えはないのか。

市長) 1. について。地域要望でもたくさんいただいている。ほとんど県の管理河川。県へお願いするがなかなか着手してもらえない実態がある。まずは県へしっかりと伝えてい

きたい。草刈等の負担軽減について検討しているところ。すべて行政ですとなると、莫大な予算がかかる。負担軽減をしていくための方策を考えていきたい。

2. 赤川については治水の基準が古い。昨年のような1000年に一度の大雨想定では整備されていない。現状では国は流域治水という考えで治水を対策していくという考え方できている。地域で心配されることは認識しており国へ地域の声を伝えていく。

3. スマートインターについて。企業団地があと2つの区画で完成し、企業誘致を先行していく。一番大きい区画の工事をできるだけ早く完了し企業の誘致に取り組む。

4. b & g うんなんについて。支援が必要な子どもたちの施設。類似施設におんせんキャンパスがある。いろんな機関が関与しながら利用につなげるので今のところは市内で1か所と思っている。

5. 奨学金について。加茂の皆さんの浄財であるので、これを全市へ広げるのはいかなものか。国の流れとして貸与から給付に変わりつつある。市としては今のところ考えておらず市としては支援をしていく。

6. 消防後援会について。全市でやっているというものではない。町全体であるのは加茂と大東。木次と三刀屋は一部にある。当然、消防団員の装備については市で準備するものと思っている。この後援会費が何に使われているのか実態を把握していない。確認したうえで市として負担するものを精査したい。

7. 用地の先行取得について。将来計画がないと用地の先行取得はできない。住宅団地の構想もあるので、計画をしっかりと作って早い段階から取得していきたい。

ご意見) 河川浄化については加茂の宿命、我々の苦労はご理解いただきたい。雲南市の税金は一つであるので、均一化・平等化を図るべきだと考えている。

市長) 全市で同じサービスが理想だと思う。

地域の実情に応じたアプローチも必要でありバランスをとった施策をしていきたい。

ご意見) 非常に厳しい農業の状況がある。雲南の基幹産業は農業だと思っている。魅力ある農業でないといけなと思う。国や県にしっかり働きかけていただきたい。

市長) 雲南市を支える大きな柱が農業だと思う。農業には2通りある。1つは産業として儲ける農業、2つ目は地域を守る農業。2つの側面で維持活性化していきたいと思っている。県は前者に力を入れている。市は産業ではあるけれども地域を守るものであるということを書いていきたい。雲南市は土地の高低差が大きいという特殊性がある。地域にあった作物の栽培を県に認めてもらえるよう努力していきたい。

ご意見) 農業従事者は高齢者が多い。1年放っておくとすぐに荒廃していく。対策をお願いしたい。

市長) 産品に付加価値をつけることも含めて対策を講じていきたい。

ご意見) 農業について。国は大規模集積化ばかり。地域は農地を手放す人ばかりで集積した人だけで草刈りや水の管理など世話ができない。新規就農も難しく草刈りが大変。

マイナンバーカードについて、市から来てもらって説明してもらった。県内でも交付率が低いと聞いた。高齢者は使い方がわからないこともある。プレミアム商品券をカードに付加

するとか、独自の対策も考えてみてはどうか。

通信インフラがもっと整備されないと都会から田舎に来て仕事をする人も増えない。デジタル田園都市国家構想交付金を活用しては、5G使って当たり前、Wi-Fi あって当たり前。都会の人たち向けに環境を整えてはどうか。

市長) 農業についてはおっしゃるとおり。集落としての機能維持のアプローチが大事、負担軽減のため、ICT などの導入も考えたい。

マイナンバーカードの取得率は県内で下から 2 番目。携帯で買い物される方にはポイントもらってもあまり効果がない。A コープが電子決済の対象店舗になった。交付率を上げる努力をしていきたい。

ケーブルテレビ FTTH の整備中。全域整備にもう少し期間が必要。Wi-Fi スポットは増やそうと思っている。

ご意見) プールの撤去について、住民の願い。いつ頃安心安全になるのか教えていただきたい。

市長) プールの撤去工事は一般土木に該当。災害復旧で業者は手一杯。災害復旧も請け負ってもらえない状況になっている。年度調整をしながら進めている。解体撤去の財源がない。合併特例債なら使えるがあと 2 年。少なくともこの 2 か年で大きな撤去はやっていきたい。

ご意見) 市長が観光協会の会長に就任された。市の観光を考えると、交流人口の増加が必要だと思う。加茂町にも名所旧跡がある。岩倉遺跡は市内でも唯一の国宝。合併前も我々も協力し、銅鐸を生かしたまちづくりをやってきた。加茂でも銅鐸を活用してほしい。

市長) 観光協会の会長にならせていただいた。観光に力を入れて、市と協会が一体となった施策を打っていきたい。広域観光に取り組みたい。市の区域を超えた荒神谷遺跡や出雲大社など一つのテーマで観光を進めていきたい。山間部はたたら、神話・古代の世界観を観光に使えると思っている。

ご意見) 赤川の大雨対策について。赤川の堤防ポンプは 39 年水害後に改修された。毎年、トライアルの裏の田は水浸し、昨年、東谷は床下浸水した。斐伊川放水路が解放され水位が下がり助かった。堤防やポンプの点検をし、充実させてほしい。町内の多くの家は山に接している。家の裏が堤であることも多い。防災の観点での撤去や補強などの対策も考えてほしい。

木次線について。幡屋に向かっていくところはかなり木が垂れ下がっている。毎年 JR が止まるようだ。廃線の議論の中そういったことが廃止論の後押しにならないよう撤去してほしい。

市長) 内水に対する対策。放水路の効果は非常に大きかった。尾原ダム・斐伊川放水路・大橋川改修、これら 3 点セットの工事が終わった後の効果を期待したい。大橋川の改修に期待している。完成後の運用を国交省で適切に行ってもらえるよう、国や県に働きかけ続ける。ため池について。ため池は、防災のための撤去に補助金もある。危険度の高いものから対策実施している。

木の撤去について、JR と議論していきたい。

ご意見) 赤川は毎年浸水する。早急に対応していただきたい。

ご意見) 地元の三代地区は、速水市長の頃にエネルギーセンターの操業延長の願いがあった。三代はずっと受け入れてきた。現在の検討状況の説明が地元にあるべきでは。常会でいいしクリーンセンターのものも受け入れると聞いた。今後、最大で受けた場合は、処理に10時間くらいかかるとの話も聞いた。地元になるべく早い段階でお話いただきたい。三代地区だけでなく全市民への周知をお願いしたい。近隣の方からはたまに異臭がするとのこと。

農業について。土地改良支援をしていただきながら、よい改良をしてもらっていると思う。半面、谷の農地は荒れていくばかり。いずれ荒れてきて田んぼに面している山は鳥獣害の対策が必要。このままでは山ばかりになってしまうのではないか。山の管理を個人で出来ない方ばかりだと思う。将来のことを見据え行政として検討して欲しい。

市長) エネルギーセンターについて。十分なご説明や周知ができていないことは反省している。ごみ処理については、奥出雲も含めた設備整備を検討していくことになっている。まだ、確定的な説明ができないが整理がついたら、全市にご説明できるようにしたい。

個人所有の山については難しいが、管理しきれないところが増えている。山と田んぼの間の整備事業がある。今後は山を集団化して、林業に活用できるよう検討しているところ。特に脱炭素に向けた取り組みのために必要。近々説明できる。

ご意見) 中原橋の改良について10年位前要望した。耐久診断された結果が橋の耐久性も高いとのことや工事費が4,5千万円かかるので事業化は難しいとの事だったができれば橋梁の改良工事に取り組んでいただきたい。

柳橋の朝夕の混雑を何とかしてほしい。右折車の右折レーンがないため混んでいる。国交省へ市長から要望してほしい。

市内には田部家に匹敵するような古文書のある家庭がたくさんあるが、空き家になったり市外に在住されている。紛失する前に保存しておくことが大事。合併から年数も経ったので、雲南市誌の作成にとりかかられては。

市長) 中原橋については、確認する。

柳橋は去年少し広げたが、根本的な改善を要望している。拡幅して右折レーンが必要だと認識している。金丸団地入口交差点も右折レーンを作ることをセットで事業化している。提案についてはしっかり検討していきたい。古文書以外にも、木次線の昔の写真など、貴重なものが多く眠っている。実はお宝というものが結構あり活用について検討したい。

ご意見) 加茂町は「なかばやしすえたか」さんが昭和30年代に本をまとめている。古文書は代が変わると捨てられる。防ぐためには寄託を考えて。残すことが大切。合併前の行政文書もきちんと整理して欲しい。

ご意見) 昨年度奥出雲町の出生数は40人だったとの事。奥出雲では高校生が大東や三刀屋に行ってしまう、地元に残らないことを危惧されていた。雲南市も同じことが言えるのではないかと人口減少対策についての考えは。

市長) 人口対策の話をするのに1時間では足りない。人口減少対策に特效薬はないが、まずは親世代を増やすこと。また、子どもが1度地元から出たあと、どうやって帰ってきても

らうかが大きなポイント。昨年度の高校卒業生からSNSで雲南市の情報を発信し届けている。キャリア教育での動機づけも必要。その地域に合った形で進めたい。色々な施策をやっていくしかない。アイデアをいただいたり、協力いただきたい。

ご意見) 人口が増えなければ、何をやっても中途半端になる。「呼び戻さないといけない」に同感だ。今後建物なしのビジネスの時代がやってくる。ネット環境の整備急ぐべき。都会に出ている人たちが帰ってきたいという要望は強い。私は45歳で帰ってきたが、他の県外在住者に聞くと、「帰ってきたい気持ちはあるが仕事がない。だから帰って来れない。」と言う。インフレスパイラルでより難しい。いろんな人に知恵を絞ってもらえる場を作って、課題解決に取り組んで欲しい。

市長) ネット環境の整備は急ぎたい。2年以内にFTTH完了する予定である。

仕事がないことについて。県内では、仕事はたくさんあるが、人がいない状況。なのに「仕事がない」と言われるのはなぜか。製造や土木などの職はとても人手不足。仕事と求める人のギャップが非常に大きい。中高生に職場の実態のギャップ解消に向けた取り組みが必要と思っている。事務系の仕事も増やしていきたい。

ご意見) 木次線の問題についてJR西日本という大きな組織が超赤字路線を残してくれるとは思えない。残すためには乗車率を上げるしかない。定期券購入に大きな補助をしてはどうか。人が乗らないからといって鉄道をなくしてはいけない。安定した輸送手段は鉄道である。原発でアクシデントがあった場合、国や県は車で避難しろというのが最も安全に時間通りに避難できるのは鉄道ではないか。避難にJRを借り上げるなど考えてはどうか。乗りもしないJRをイベントやったからといって、残してはくれないと思う。視点をかえていかねばならない。

2025年問題について。

団塊の世代が75才を超える。誰もが健康で迎えられるとは思えない。受け入れる施設の準備など体制を今から考えておく必要がある。また、団塊ジュニアは引きこもりが多いと聞く。先手を打っていかねばならない。そうした課題が間近に迫っている。

市長) JR木次線について。ありとあらゆる手法を考えながら、進めていきたい。原発は一つのアイデアとして伺っておく。

団塊の世代について。健康づくり、生きがいづくりが大切。これまでの取り組みが実を結んでいる。引き続きしっかりと取り組みたい。2040年問題(団塊ジュニア世代)についても、健康づくりの延長だと思う。社会参加も雲南市の土壌を活かして対策していきたい。

地域要望・意見箱は全部見るようにしている。どんな意見でも構わないので、今後ともよろしく願いたい。

吉田町地域自主組織連絡協議会と市長との意見交換会

【日時】

令和4年10月7日（金）10:00～11:30

【会場】

吉田健康福祉センター

■意見交換

ご意見) 今朝の新聞で11月7,12日に原子力の災害訓練をするとの記事を読んだ。安来と雲南も対象とのこと。雲南はどここの地区が訓練に参加されるのか知りたい。

⇒後日吉田総合センターより説明済

市長) 原子力広域訓練は、広島まで避難する。今回は加茂地区が対象。全市一斉ではなく、少しずつ進めていきたい考え。広域避難計画は30キロ圏内を対象で吉田は圏外。30キロは便宜上ひかかれている線であり、場合によっては、関係なく避難が必要となることもある。訓練の内容、状況は全市に知らせていく必要があると考えている。

ご意見) 民谷は積雪が多く他地区への通勤が難しい。どんどん寂れていくのではないかと危惧している。最終は国策だが、市としてもがんばってもらわないと5年10年で先が見えている。現実を見て、それに沿って対応していくような策でないといけない。地域もできる限り頑張っていく。神原企業団地やスマートインターチェンジができて、企業誘致もされていると思うがどのくらい応募があったのか。

市長) 神原については、今年度末2工区造成完了し、販売開始する予定。複数の企業と交渉中。できるだけ早い段階で誘致したい。一番広いB工区をこれから造成する。当初7,8年の計画だったが前倒してできないか検討中。市内の企業で人手不足のところはたくさんある。建設業、福祉介護医療分野、製造業、募集しても人が来てくれない。高校生が求めるのは事務職やIT系であり、ギャップが生じている。協栄金属のような優良企業は毎年新規採用している。

子どもたちに雲南市で働いてもらえるようないろんな職場の魅力を若い人に伝えていきたい。雲南市は広く市の発展のためには周辺部の発展が必要。同じ施策ではなく、個別に事業をやって、一人でも二人でも人がやってくるようなものが必要。畜産のレンタル牛舎の事業で外から呼び込むとか。地域おこし協力隊も活用しながらむしろ地域からアイデアをいただきたい。

ご意見) 若い人が残れるような仕事場が増えてくるのが望ましい。吉田町で年間何人子どもが生まれるのか。若い人を残すことを最優先に。若い人に即入ってもらえるような仕事場があるといいと思う。農林業以外の仕事が欲しいということもある。また、山間5地区で存続する会を作って活動したこともあったが、なかなか良い事業や活動資金もなく停滞したまま。同じ境遇のところが集まり意見を出していかないと県も取り合ってくれない。これは良いというものには助成をしてもらわないととれない。

市長) 民谷、波多、塩田など共通課題。本日お話を聞いて活動支援をしていきたい。

吉田にもIターン者で映像コンテンツ作成している方がいる。なぜ吉田に来たのかというと「田舎に住みたかったから」とのこと。インターネット環境があればそのように来てもらえる。そのような仕事づくりに取り組みたい。

ご意見) テレワークで仕事している人を知っているが、そうした業種の方の確保だけでは人口獲得はできない。良い仕事場を見つけてほしい。村田製作所も最初は小さかったが、製品が時代にあって大きくなった。専門のチームでも作って誘致活動してはどうか。

ご意見) 田井地区の高齢者の交通手段はバス。バス回数券の資格証発行について。交流センターで優待乗車券を販売しているが、優待乗車券購入時には資格証の提示が必要。デマンドバスで来られるが、帰りの便がなく、普通のバス券でいいと優待券を使っていない人が多くいる。手続きを簡素化できないか。資格証の有効期限を5年間にするとか郵送申請を可能とするとか。資格証申請は田井交流センターではできないと言われた。高齢者なら交流センターまでこられる。総合センターまで行けない。

市長) 内容を確認したい。スマホが使えればいいのかもわからないが、宿題としていただきたい。以前もご要望いただいている。

ご意見) 景観保全と農地バンクについて。吉田の景観は中山間直弘事業できれいに整備しており雲南市一ではないか。しかし、高齢化で山裾と河川敷、道路が荒れてきている。1番は河川敷、葎が生え、立木が生えてくる。どの地域でもボランティアで草刈りをしているが、追いつかない。集落でも多面的機能交付金を部分的に使っているが、せっかくなら本来の目的の農地部分に使いたい。同じ悩みは他地域にもあるはず。市単独で景観保全事業でもあればよいと思う。

農地バンクについて。吉田は法人が比較的作られている。高齢になられて施設や病院に入られて不在になるとその農地の管理が必要。若い人はほとんど県外。こういう場合、もう一歩踏み込んで斡旋してもらえると地域も安心する。

市長) 景観の保全について。どこの地区でも草刈り・河川管理は課題だ。河川について、課題となっている所のほとんどは県管理河川。土砂浚渫などの要望を県へお願いするが、県の基準ではなかなか動いてもらえない。地域の方が苦勞してきれいにしている。何か困っている地域を助ける制度ができないか検討中。負担軽減のための大きな機械を貸し出すことや人手の調達など。

農地バンクについて。現状では斡旋までできていないと思っている。借り手の問題もある。担っていただける法人や認定農家へ情報提供をしていく必要はあると思う。ご意見を現場に伝え検討したい。

ご意見) 総合センター、交流センターの整備について。市と対話しながら、考えていきたい。吉田の状況がどんどん変わっていく中で、具体的なスケジュールを知りたい。吉田では田部家・吉田ふるさと村ががんばっているが、総合的なプロデュースをしっかりとできる場所があるとよい。高齢化・少子化の問題は行政へ返ってくる。吉田の中で違う団体もみつからないと直営となり行政へ返ってくることになる。

市長) 総合センター、交流センターの見直しについて。民谷交流センターの建て替えについては計画に挙がっており、造成設計中であり計画的に進めていく。総合センターについては、老朽化による課題があることは認識している。どういう形で更新するのか、財源も含めて検討は着手している。公共施設の建て替えが始まってきており事業費が大きい。行政の建物をどのタイミングで着手するのか難しい判断だが、財源を確保していきたい。6町の総合センターは堅持していきたいと考えている。

田部家、たたらへの活用について。たたらへの里や社長と交流し情報交換している。財団の体制の強化、活動を通じた地域振興の取り組みを進めたい。

「たたらへの里プロジェクト」と「鉄の道文化圏」の広域的な事業が2つある。観光協会の会長ともなったので、行政の取り組みと観光の取り組みを一つにして「たたらへの里プロジェクト」では地域資源の発掘・磨き上げ・創造をしていきたい。「鉄の道文化圏」では観光としての活用の2本立てで考えていきたい。観光による産業創出を考えていきたい。

・指定管理について

市内各所で指定管理できない施設があることを聞いている。昨年度から積算の仕方を配慮していくよう舵を切った。本当に行政が運営すべきものか、民間への譲渡も考え方の一つだと思う。今あるものは財産でもあるので活用したい。

ご意見) 冬季の高齢者介護について。民谷地区の冬は雪が多く大変。そんな中、車いすに乗って介護施設へ週3~4回通所される方もある。冬季に自宅から車まで車いすで行けるか心配している。あるところでは、去年は自前の除雪機で除雪されていたが、老々介護で今後の除雪も大変な状況である。雪は突然降るわけではなく前もって予想できる。介護施設で雪が小降りになるまで預かってもらえないだろうか。老々介護が続く。

市長) おっしゃる課題は私も注目している。県の制度で冬季間に限った受入れ施設への支援ができたこと記憶している。そうした需要があるなら検討する必要がある。冬場の間だけ利用する施設も考えていけないと思う。現行制度のなかでショートステイなどやり方はあると思う。実態の調査と事業化について担当部局へ伝え検討したい。

ご意見) 市道の立ち木が繁茂している。雪で垂れ下がるので、その辺りを伐採して欲しい。台風の際に倒木がひどく、木をよけながら通勤したので対応を願う。

市長) 道路が出来て年数が経ってくると木や竹が生えて状況悪いところが、あちこちである。道路の上空は切ることができるが民地部分は伐採が難しい。民地部分の木を切る方がよいがなかなか手を出せない。これについては宿題として預かる。地域のみなさんのご理解をいただきたい。

ご意見) 除雪について。交安協支部長と交通指導員をしている。国道314号の交差点には、横断歩道と点滅信号がある。冬場、除雪した雪を交差点の角に山積みされ、通学児童、通勤車両にとっては視界が悪くなる。国道と市道の除雪業者が違う。見通しが悪くなることは除雪体制の中で考えてほしい。冬場使わない農道に雪を持っていくなど考えてほしい。昨年も要望したが対応をお願いしたい。

教職員住宅について。現在、教員住宅は使われていない。老朽化し危ないので、フェンス

をし入れなくなっている。以前、地元でほしい人がいたときに「老朽化しているのでダメだ」と言われ放置されている。このままでは、動物の住処になってしまう。市としてどのように考えているのか。住宅用地にしては、旧役場の官地は売ることができるのか。

市長) 除雪について。今年は厳しい冬となりそうとの予報。今の話は建設部へ伝える。何か工夫ができないか、農道側へも一つの案かもしれない。国道の除雪と市道の除雪合わせて調整したい。

市の管理する土地などについて。まずは、市で使えるか使えないか検討し、次に民間で活用できないかという話になる。建物は更地に戻し、欲しい方へ譲渡するという考え方。現在、解体を待つ建物が非常に多い。災害があり解体は先送りをした状況。順次やっていく。今の状態でも良ければ欲しい方へ譲渡してもよいと考えている。

土地の利活用を考える上では、土地開発公社では小規模団地の造成を展開している。昔は30戸など大規模な事業が多かったが、周辺地域ではできなかった。そういった計画を進めている。民間で希望があれば譲渡しても良いと思う。10月から担当の部署、市有財産活用推進室を設置した。情報を寄せていただきたい。

ご意見) 2点お願いしたい。猿の被害が非常に多く、今まで出なかったところにも今年はお出ようになった。どれくらい駆除されているのかわからない。田井にはハンターがいない。市で駆除の専属チームをつくっていただき、何日間か滞在してもらえないか。高齢者が追い払おうとしても逆に威嚇される。交流センターでは煙火で脅しているが、効果は一時的ですぐ戻ってくる。

2つ目。10月5日に地域自主組織事例共有会があった。田井は「子どもの居場所」について発表した。資金面の援助をお願いできないか。田井は児童が13名。夏休みは一人500円もらってやっているが、子どもの人数が少ないので収入が少ない。スタッフへの謝金は払わないといけない。

市長) 猿について。私もなんとかしたいという思いはある。どういうことをしたら被害から守れるのか、先行事例を探しているが見つからない。飯南町の中山間地域研究センター、東京のロボット企業にも相談している。駆除班を貼り付けることは難しいとしても、何か研究をしていかなければいけない。専門家を入れて模索していく必要があると思う。またセンターと協議を行いたい。サル・熊・鹿が問題となっている。鹿は協力いただいて広域防除に動いている。クマとサルについては、ドローンを活用して行動把握できないかと思っている。いろんなアイデアで取り組みたい。

子どもの居場所の実態を伺った。持ち帰って他地区の実態も合わせ、調査し検討したいと思う。

ご意見) 吉田にも地域おこし協力隊員がおられ心強い。しかし任期がある。現在の方も間もなく任期が切れる。せっかく地域に溶け込んでやってもらっていたのが、任期が切れれば、隊員も生活していかなければいけない。将来に向けて残ってもらえるような施策はないか。

市長) 地域おこし協力隊を活用していきたい。期間終了後に残ってもらえるようなフォローアップ必要。専門の方に協力いただいて、フォローアップする体制を作りたい。吉田の方

は続けて雲南に定住されると聞いている。雇用できる受け皿が必要。農業法人での雇用を考えたときに法人に受け入れる体力があるかが問題。受け入れが難しいということなら、ワークアラウンドうんなん（特定事業協同組合）が雇って、夏はここ、冬はここといった形で通年正規雇用できるシステム作っている。これもワンクッションになる。3年間地域おこし協力隊で、3年間はワークアラウンドで・・・地域おこし協力隊は市内で2人いる。海士町は36人。もう少し活用できないか各部局に投げかけている。今までの活用方法と変えて、畜産分野など。3年繁殖農家で経験、3年後は自立するなど。海士の事例も参考にしたい。

ご意見) 立地適正化計画について。よくわからない。中心部を核として町をつくるということか。

市長) 国から補助金をもらうためにも必要な計画。雲南は松江・出雲とは違う。中心に集めていくという計画ではない。市街地を守るための計画。国は中心部へ集めたい考えだが、雲南市はそうではないと考えている。

ご意見) 田部が事業のために34、5人の雇用が必要とのこと。そのために住宅を探しているが吉田に住宅がない。将来的に吉田の人口流出を食い止めるためにも住宅がないといけないと思う。高速道もできたので条件的にはいい地区だと思う。若い人に残ってもらい、来てもらえる拠点を。空き家も入居者はあるが、我々も空き家の所有者へ打診していきたい。

市長) まずは空き家の活用をしっかりとできるようにしたい。住宅のストックを活用し、小規模団地の検討も進めないといけない。公営住宅では法的に入居制限もある。掛合の下郡団地から吉田に通っている人もいる。ニーズに応じた対応していく必要があると思う。

ご意見) この辺りの周辺部が寂れてくるのは仕方ないと思うが、市の中心部がもっと賑わいがあってもよいのではないかと。会が立ち上がったと聞いたが。

市長) 今ある市街地の活性化を図る必要あり。中心市街地活性化協議会は三刀屋・木次中心。木次線の関係もあり駅前の賑わいの創出必要。市街地と周辺地でバランスを取りながら進めていきたい。出雲市は合併した旧町の人口の減少が進んでいる、例えば佐田町など住んでいた実感として感じる。雲南市は6町が対等合併した。均衡な発展を進めていきたい。

ご意見) 昨日、「ぐるナイ」でオロチの爪が使われていた。すごくいい取り上げ方。有名番組で市の農産物を使ってもらえるような取り組みをすれば、若い人にも誇りに思ってもらえるのでは。

市長) メディアで取り上げられるよう取り組んでいる。オロチの爪は今のところ量が少ないので、売り出し方を考えたい。東京都大田区の商店街で雲南産品の販売を進めている。そこからヒットする可能性もある。あとは生産体制を確立。そこから加工までの体制を作りたい。新商品の開発も取り組んでいる。何かあればご相談いただきたい。

ご意見) 農作業施設のリース事業について。色々やりたいが資金や人がいないということで、うちの法人も検討しているところ。イノシシが好まないものを作っては。作業の施設。ハウスなどのリースがあると一番いい。ある程度技術を身につけた人（農業大学など）が自分でやる時に資金面が問題となる。リースの方法などぜひ進めてほしい。

市長) 今、リースはハウスがある。畜産の牛舎等のリースについては県と話している。畜

産で重要なのは場所。場所を探している状況。そのような話があれば教えていただきたい。農業については、新規就農等の資金面の問題が大きい。JAの融資もあるが、事業承継のケースもある。資産の継承と資金。親から子への時代ではない。後継者へどうつなげていくか、研究していく必要がある。

ご意見) 市道の草刈りについて。雨が降る前に草刈りをされるが、刈りっぱなしで大雨の際に側溝に詰まり雨水がオーバーフローしてしまう。予算に限りはあると思うが、刈った草を片付けてほしい。

市 長) 具体の箇所を確認し、ご連絡したい。

⇒後日、場所を確認したところ、市道と農道で市により草刈りをしている場所について、全てのことであった。

木次町地域自主組織連絡協議会と市長との意見交換会

【日時】

令和4年10月28日(金) 9:30~11:40

【会場】

木次総合センター

■意見交換

ご意見) 市長は地域に対応した地域自主組織をどのようにしていきたいか。自主組織が行政の下請けとならないよう考えて欲しい。

市 長) 方向性や抱えている課題が地域によって違う。自分たちだけで頑張ってくれというだけでは難しくなっている地域があるということは承知している。その中で協働のまちづくりは変えてはいけない。

ご意見) 地域自主組織職員の処遇改善について。若い人を採用したいがそれなりの待遇・給与でないと採用が進まない。職員だけでなく役員についても同様だがどう考えるか。

市 長) 職員処遇はそれぞれの自主組織での財政基盤が違う。

ご意見) 自治会と自主組織との関係。高齢化により自治会の維持が危うい。一本化できるものはないか。

市 長) 活動そのものの幅が自治会と自主組織とは違う。維持できない自治会をどう支えて

いくつか検討。

ご意見) 三新塔交流センターは災害時の避難場所としては狭い。チェリヴァホールを発災時の初動段階から避難場所として開設してほしい。また、市職員OBを避難所運営ボランティアとして活用できるよう登録制度を創設してほしい。

市長) 災害の規模に応じて開設している。災害時のボランティア制度はある。市職員OB避難所運営ボランティアの登録制度については検討していきたい。

ご意見) JR木次駅前と周辺の三角地帯の活用による活性化について市にも積極的に協力してほしい。

市長) 担当部局に話しておく。木次駅前の賑わいはJR木次線存続の兼ね合いもあり必要。JRの協力も必要。

ご意見) 電柱の浸水想定水位の表示。(水道局 新市交差点に表示)。水道局で木次、三刀屋の水道ポンプの制御盤60か所へ表示していくとのことであるが、市民は水道の制御盤がどこにあるかわからない。制御盤ではなく電柱に表示すれば分かり易いと思う。行政から中電に電柱への表示の要請があれば、中電としては対応を考えるとのことであった。ハザードマップの水位表示は市民にとって驚異だと思う。

市長) 表示について枠組みをどうしていくか。一步踏み込んだ検討をしていく。

ご意見) ①下熊谷地区は住民数のわりに自主組織職員の数が少ない。現在は常勤1名、時間勤務5名の体制だが下熊谷地域には250世帯が住んでいる。事務員の1名増員をお願いしたい。

②常勤職員の給料上がっていないので増額をお願いしたい。併せて職員は自家用車で移動しているので諸手当の支給をお願いしたい。また、市職員に地域自主組織への併任発令をしていただき月に1、2回ほど勤務していただきたい。地域自主組織や地域の実態を知ることできるし、業務についてのアドバイスも期待できる。

③要支援者名簿について、なぜ提出が必要なのかわからない。

④アパートもだが一戸建ての人に自治会に入ってもらえなくて困っている。

市長) ①増員の希望は関係部局に伝える。

②自家用車利用について、観光協会ではキロ数に応じた旅費での対応をとっている。手当として出すのは難しいと思う。併任発令については持ち帰る。

③要支援者名簿についての話があったが、市からの依頼の趣旨がわかりにくいと感じることがある。広報、説明の在り方を考えていく。

④自治会加入の強制はできないが活動・役割を広報していく。地域での支援もいただきたい。

ご意見) ①地域自主組織への未加入自治会があり、長年協議を重ねてきたが、負担金の協力をいただけることとなった。一步前進。

②保育所(斐伊)、子育て支援センターの移転問題について揺れ動いている。木次子育て支援センターは利用が多いので将来を見込んだ計画を立てて欲しい。また、斐伊グラウンドには子どもたちがたくさん集まる。利用が中止されている遊具の修繕を行って欲しい。

③斐伊農道に防犯灯の新規設置を要望したが、自治会での設置をとの回答。大きな街路灯増やすか広域的な防犯灯設置を塔の村から給食センターの間に設置して欲しい。

市長) ②話の進め方に問題があったように思う。次の議会で方向性を出す。また、子どもたちがたくさん集まる公園の遊具が使用中止になっているとのこと。公園には都市公園、農村公園、教育部局の公園がある。状況把握をして整理する。

③防犯灯は基本的に自治会。街路灯は道路管理者が設置。地域の中で電気代の負担など合意が必要。

ご意見) 市長の子育てビジョンについて伺いたい。

市長) 若い世代をいかに取り込むかが一番大事なところ。雲南市でなければ体験できない田舎ならではの素直に子どもが育つ環境が大事。極力学校の統廃合はしたくない。小規模校でも団体活動が体験できる地域一体となった子育て。本当の教育を求めていきたい。

ご意見) ①空き家利用して都会からUIターン者が来られるが4、5年で出られる。その理由もわからず対応がとれないので市からの助言をいただきたい。高齢者の買い物支援についても思うように進んでいないので市からの助言をいただきたい。

②西案内川、水谷川の改修をしていただき斐伊川に直接排水できる形をして欲しい。また河川改修後は逆調整池に広い空き土地ができるので、住宅団地の造成を望む声もある。

市長) ①Iターン者のサポートしていかなければならない。買い物支援は地域によっては条件違う。現在ドローンを活用した流通の実験も始まった。

②西案内川、水谷川の改修については状況を把握して検討したい。中電の逆調整池は慎重な判断が必要。埋めるとどのような状況が生じるかわからない。

ご意見) ①さくらおろち湖のボート艇庫にはボートが90艇あり、金額にすると総額1億円を超える。競技用ボートの活用を。また、2030年には国民スポーツ大会が行われる。そのために市内高校にボート部を創設するなど検討してはどうか。

②有害鳥獣対策の為に仲間を募り狩猟免許取った。1年くらいになるがメンバーの中には解体が出来ない人もいて埋設して処分することもある。埋めるのも大変であるし、有害鳥獣用の焼却場の設置をお願いしたい。

市長) ①雲南市も奥出雲町もレジャー的な地盤はあるが競技としての地盤がない。松江市のボート協会や県のボート協会といった関係団体の力を借りながら進めていきたい。

②現在力を入れているのは有害鳥獣の有効活用。猟友会との情報共有にも取り組んでいる。焼却施設は環境部分の規制を通過するのにいくつかの段階を踏むことが必要となる。少し時間をいただいて進めていきたい。

大東町地域自主組織連絡協議会と市長との意見交換会

【日時】

令和4年11月 2日(水) 10:00~11:30

【会場】

大東総合センター

■意見交換

ご意見) 振興会組織がそのまま続く体制ではない。主事1人。それに見合う賃金体制になっていない。バランスのとれた賃金体制といえるのか。常勤の人数も含めて見直しをしないと衰退していくと思う。発展していける地域自主組織づくりをしていかねばならない。

市長) こうした課題提起はどこの町でももらっている。これまで、地域自主組織職員の賃金体制は各組織ごとで決定してきたが、ご指摘を受けて検討を進めていきたい。市の財政的にも厳しいが、自主財源のあるところとないところがある。類型ごとに検討していきたい。

ご意見) 持続可能な地域自主組織の在り方を考えていただきたい。お互いが短期的に考えるのではなく、地域ごとに様々な事情があることを含めて長期的に検討して欲しい。

ご意見) 阿用地区の市営住宅について。地域内には市営住宅が3つある。西の宮と三峠(みそね)が古くなっている。建築が昭和46年頃で、すでに建築から40年、50年経っている。耐用年数も15年くらい過ぎている状況だが風呂にシャワーもなく、浴槽の高さが高くて入りにくく階段に手すりがない。トイレの床が抜けた住宅もあるという。雲南市公営住宅等長寿命化計画では、20戸の建て替えとある。20棟ではないのか。西の宮と三峠でそれぞれ14戸と15戸で合計29戸入居しておられ足りないのではないのか。建設は7~11年後と聞いている。このような住宅の状態では、高齢者が健康で安心して過ごせないのでは。20戸しか建設されないのなら、ほかの住宅を斡旋する必要があるのではないのか。早急な対応をお願いしたい。

下水道について。大東町では連坦地以外は合併浄化槽であるが、市の構想によると、将来的に大東地区の農業集落排水などを下水道に繋ぐと書いてある。将来、下水道を阿用につないで欲しいという要望がある。私の実家は山の上まで下水道が来ている。他地区から来て家を建てる際に合併浄化槽だと躊躇されることもあるのではないのか。

市長) 市営住宅について。市内にはたくさんの市営住宅があり、老朽化が進んでいる。順次建て替えを進めている。建て替え年度の前に政策空き家として、まずは空けてから建て替えに向かう。国・県の補助金を確保しながらでないと進められないこともあり、実情を現場に伝えて着実に進めるよう指示したい。

下水道について。農業集落排水を下水道に繋げることとしている。これは下水道のランニングコストを下げるため。背景には、人口が減る中で下水道維持のための効率化がある。今後、下水道エリアをどうしていくのかということも大東では課題となる。下水道の接続については、最終的に個人の負担が出てくる。特に山間地域での負担が重くなる。みなさまのご

理解がいただけるかがポイントとなると思う。定住のために必要であるというご意見は、理解できる。ただ、下水道整備をしたが、人が入らないではいけない。合併浄化槽であっても支援しながらというやり方もあると思う。

ご意見) 県道安来木次線と桃源郷の整備について引き続き対応をお願いしたい。県道の真野谷かなり狭隘。夏前に草刈り頼んだ。先月も刈ってもらったが、竹等で前が見えない状況である。

桃源郷の料金について。アウトドアブームで利用が多い。テント1張り540円で貸し出しているが、収益に寄与しない。クリーニング代も手出しをしている状況。料金体系を見直してほしい。

市の遊休資産について。旧久野小学校の管理をしているが、グラウンドは草が生える。今は除草剤でも完全に除草することは無理な状況で、イノシシの遊び場になっている。一番良いのは、一回土を剥いて入れ替えて欲しい。

旧交流センター管理についてもお願いしたい。草刈り・松とサツキの剪定は振興会でしている。放っておくことはできない。市で対応してもらうか、振興会へ委託料が欲しい。

全体の課題であるが耕作放棄地の対応を検討してほしい。

市長) 真野谷工区については、先日も県へ要望している。しっかり働きかけていきたい。

かみくの桃源郷にかかわらず、市の施設をなんとか再生させていこうと考えている。今、道の駅に取り掛かり、次が観光施設と思っている。今あるものを活かしたい。修繕は順次となるが、料金はメスを入れていかないといけない。指定管理者の裁量が必要と個人的には思っている。検討していきたい。

遊休資産の担当課を設置している。民間の活用・除却・管理方法を整理していきたい。旧久野小学校グラウンド・旧交流センターの件については、しっかり伝えていきたい。今ある市有財産をどうしていくか検討進めたい。

耕作放棄地の対応について。40ヘクタール毎年耕作をやめられている。去年は災害もあったことから、20ヘクタール上乗せで増えた。活用を図りたい。地域おこし協力隊の活用もしていきたい。地域でアイデアがあれば、みなさまと検討したい。

ご意見) 3点お伝えしたい。

1点目は海潮交流センターの新規建設について。去年・今年と避難指示が出ている。当初、中学校の体育館へと指示があったが、床が硬い、トイレは洋式がないなど問題が多く、仕方なく交流センターで避難所を設置した。しかし交流センターはイエローゾーンに建ており、一部レッドゾーンにもかかっている。順位は幡屋の後になっているが、自然災害に対応するべく、早期の建設をお願いしたい。

2点目は桂荘の指定管理について。地域自主組織で受託して運営している。大東町時代は利用者数が1日当たり142名だった。H28には280名とおおよそ倍になった。その後、コロナで若干減った。設備の老朽化目立つ。産業施設課とも話しているがトラブルが頻発している。給湯管交換の見積りまでは取られているが、年次計画を立ててやって欲しい。

3点目は神楽の宿について。神楽の宿も指定管理を受けている。瑞風の乗客に神楽を観て

楽しんでもらっている。この建物は屋根がかやぶきで、かなり傷んできている。葺き替えの要望はしているが、実現していない。苔等により緑色になっている。早期にご検討いただきたい。

市長) 交流センターについて。すでに3つ並行して動いている。幡屋・民谷・波多いっぺんにできないのが実情。レッドゾーン・イエローゾーンに建っている避難所は市内にたくさんあり課題である。建て替えまでどうしていくか、当面は工夫するしかない。地域ごとに違った対応になると思う。

桂荘・神楽の宿について再生計画に従ってやっていく。永井隆博士おいたちの家、茅葺屋根を修繕したが、職人さんの確保が難しく時間がかかった。観光振興課へ伝える。

ご意見) 笹谷、塩田合わせて48戸しかない地域。高齢化率は65パーセント。人口は130人くらいで、子どもは13、4人である。

今年度になってハザードマップをもらったが、県道上久野大東線、川井箱淵線、大仁農道の隣接の家が多く、レッドゾーンばかり。災害時夜は移動ができない。時間雨量20ミリ、24時間で80ミリが災害基準であったが、今は何倍も雨が降る。指定避難所(旧小学校)もレッドゾーンに近く、交流センターもレッドゾーン。夜避難するのにも危険な地域ばかり。自治会の集会所くらいにとどめてほしい。避難判断を個人に任せるしかない。市職員が夜間に避難所の当番を交代することも危ないと思う。

水道について。無給水地域。合併前に井戸掘りをされて20年経つとポンプも傷んできており対策が必要。

道路について。集落間の道路草が生えたり管理が疎かになっている。草刈を頻繁にやってほしい。

市全体に関わることについて。イノシシ対策。大東は熊や猿はいないが、檻の中に人間が住んでいる状態。猟師さんもいなくなった対策をしてほしい。

市長) 避難の方法について。移動することでより危険になる場合は可能な範囲で垂直避難など対策が重要。地区でどのように避難をするのか申し合わせが可能ならばよいと思う。市としては大きな災害がきたら仕方ないとは言えない。総合センター等へ相談していただきたい。レッドゾーンは市内に沢山ある。県がレッドゾーン指定するのに雲南市が最後まで抵抗した。この地域に住むなという事かと。地域振興に力を入れるとのことで納得した。

水道について。水道事業は山王寺で実施している。水は大切なもの。以前整備された施設の修繕は相談があれば対応していかないといけない課題である。

道路について。上久野大東線。市内色々なところで自治会では管理できないという話を聞いている。負担を軽減する方法を検討している。

有害鳥獣対策について。予算を拡充し対策している。駆除が難しくなっている。猟友会さんから鉄砲を持つことの経済的な負担があると聞いている。美郷町のやり方も一つの方法かと思う。まだまだ十分でないと思っているので検討したい。

ご意見) 定住促進対策お願いしたい。

高齢化については、市内みな苦慮している。佐世はまだ小学校に児童が80名いるが、未就学児童が極端に減ってきている状況ある。佐世に限らず、大東町全体としては思ったよりは交通の便がいいとして松江・出雲に通勤し、極端な人口減少はない。地の利を生かした住宅団地構想を考えてほしい。

令和元年に市と土地開発公社へ小規模住宅団地の要望書を出している。候補予定地の地権者の承諾も得て要望も出したが進んでいない。一つには、提供していただいた土地が道路平より低く、埋め立てるとかなり高額になり、土地開発公社としては、安価に土地を売りたいことから進まない聞いた。小規模住宅団地構想が難しいなら、グランデのような若者定住住宅などを考えてほしい。住宅材が高騰しているが、業者に聞くと建築の希望が結構あるとのこと。グランデに住んでいる人が家建てて地区内に定住するというのもできるのではないか。

以前は体育館の暗幕を要望してもなかなかで、市と協議会で半分ずつ費用を出して直したこともあった。市有施設は市で管理、修繕を行ってほしい。

市長) 土地開発公社では大規模な開発が難しい。4, 5棟の小規模団地を造ろうと取り組んでいる。木次・掛合・加茂で取り組んでいる。適地があれば検討したい。条件が整えば、要望地もどこかの土が入れられればチャンスを捉えていきたい。各町ごとにみると大東町以外は減っている。拡大幅が増えている。松江・出雲に通える当地の皆様のアドバイスをいただきたい。

小中学校の備品等について最低限の環境は保証しないといけない。

ご意見) 交流センターの建て替え順調に進んでいる。財政的に難しいとは思いますが、地域の意見を取り込んでほしい。

定住対策について。道路改良がなかなか進まない。特に県道、市からの働きかけが必要である。当地区には玉湯吾妻山線がある。だいぶ改良されているが、通勤道路であり定住対策が進まない。また、加茂から宍道へ抜ける市道の改良も必要。県への働きかけ、市道は制度の活用考えてほしい。

市長) 定住の基盤として、一番は道路だと思っている。国における道路予算の確保について、国交省へも働きかけている。災害もあって、進まなかったがなんとか進めてほしいと言っている。災害復旧があと2, 3年かかるとは思うが、定住対策も待ったなしである。引き続き、県へ働きかけ、市道・農道・取り組みたい。

ご意見) 地区内に25自治会あるが、内1自治会だけが地域自主組織に入っていない。子どもはイベントに参加している。会報を回覧している。個人的に消防団員に入っている方もいる。大きな自治会だが、実態がわからない。ぜひ地域自主組織に入ってもらいたいと思っている。地域の連合自治会へ入って、地域づくりに参加して欲しい。市内でもたくさんあるそうだが、どのようなかわりを持っているのか教えてほしい。市から呼びかけてもらえないか。

市長) 特に新興住宅団地、都市化が進んだところについて自治会に入っていない地域があり大きな課題。意識啓発を市としてしっかりやっていきたい。自治会はあるが、地域自主組

織に加入していない自治会が市内でもあると聞いている。だからといって、子どもだけ地域自主組織の行事に参加させないわけにはいかない。地域自主組織に加入していない自治会は個別に参加費を負担いただくやり方も聞いた。話し合いにより、地域自主組織へ入られたところもあるようだ。どういう形でお力になれるか総合センターも含めて相談に乗りたいと思う。自治会に入らないという意識を変えていくことが必要と思っている。

ご意見) 市長就任後そう長くないが、今日まで雲南市あるいは大東町の現状をどのように思っているのか。昨日は11月1日で合併から18年経ち成人を迎えた。合併後の旧6町がどのように発展してきたと考えているか。

人口減少対策について。多ければいいというものではないと思うが、減ってくるとやはり寂しい。H12に市全体で43,632人だった人口が、R2には36,007人。約1万人減少している。社会増の減少幅が減っているというが、人口減の要因は。社会増を目指して行くとすれば、施策として取り組んでいることは何か。

観光資源について。大東七夕まつり・ほたるいずれも保存会を結成し、取り組んでいる。市として観光政策上の位置づけはどのようになっているのか。木次の桜まつりなどは市を挙げてという感じがするが大東はどうか。

市長) 市・大東町の現状の認識について。人口の問題とも関連するが、どうしても人口の移動が周辺地域から中心地へ中心地から都市部へと続いている。そんな中でも高齢の方が活躍し地域の取り組みを守っていると感じている。この流れをどう改善していくか、若い人が利便性を求めるのはやむを得ないと思うが、そうすると東京が一番いいということになる。一番の根本はそこを変えていく必要がある。親と住むことの幸せ。隣近所を気にしなくて良いことなど、価値観を変える。これまで、6町村の対等合併で違いをいかになくすかという施策をしてきたと思う。中心部へ集約に進んできたと思う。ほんとに集約だけでいいのか、考え直すことは重要な方向性だと思う。一朝一夕でかわるものではないが、雲南市全域が発展をしていく取り組みが必要だと思っている。

人口の減少について。社会増減を増にしたいと思っているが、それを大きく上回る自然減がある。出生年間200人くらい。子どもを産む数を増やすことが必要。高校を卒業して県外へ出た人に戻って来てもらうことが必要。現役世代の層を厚くしていく必要がある。合計特殊出生率2を超えるところを目指したい。地域を守る観点でいうと、今活躍されている皆さんの健康や地域活動の中で生きがいをもって暮らしていけるように高齢者の対策も必要。

住宅対策について。家を建てるタイミングで地域外へ出ていられないよう対策が必要。建てるだけでなく、空き家など既存のストックの活用、産業・普段の買い物の場所などの整備も必要。周辺部の農林業は市として大事だと思っている。

観光振興について。観光協会の会長もしている。市と一体となってしっかりと進めたい目玉の一つは広域観光。一つのテーマをもって取り組んでいくもの。例えば「スサノオ」でツアーを組み、大社～佐田～須賀神社ヘルートを設定する。また、「たたら」をテーマに組んでいくことを考えている。七夕まつり、神楽など海外の人から見ると興味深い。訴えかけるテーマにちなんだ内容で宝を磨きながら取り組んでいきたい。

ご意見) どんどん一極集中している。この何十年、50年くらい前この地方は田んぼがたくさんあってにぎやかだった。この50年で日本の地方は惨憺たる状況。一自治体だけではどうしようもない状況とは理解している。流れは全然変わっていない。地方が決起して包括的に一緒になって国に対して、要望してはどうか。人口減少については、もっと大胆な施策が必要。物価高に対応するようなものや子育てに関する費用はすべて無料だとか大胆な施策で活路を開くということはどうか。

市長) QOL「生活の質=豊かさ」と変換しているが、ヨーロッパでは当然の価値観である。実現には一つの自治体では難しい。

一票の格差の議論についても前からおかしいとは思っているが、一人が一票ではなくて一票の質が担保されていない。いろんな議論が国でされているが、ぜひ解決してほしいと思っている。この解決がターニングポイントだと思う。私は掛合の出身。今後どうなるのか平成～令和で変わってきているのはマスメディアからSNSなどインターネットを通じて情報発信ができるようになってきていること。新しいメディアを活用していきたい。兵庫県明石市やっている。雲南市で同じことをやったら、いくらかかるのか試算するよう指示している。

三刀屋町地域自主組織連絡協議会と市長との意見交換会

【日時】

令和4年11月 4日（金）14:00～15:30

【会場】

三刀屋交流センター

■意見交換

ご意見) 三刀屋町は昨年災害に見舞われた。飯石・三刀屋・鍋山・中野は特に。災害復旧には雲南市建設業協会の5社で対応してもらっている。少しずつ元の状況にはなっているが、なかなか進まない状況だ。一日も早く対応を図って欲しい。

市長) 特に三刀屋町については道路河川以外、農地等も被害があった。まずは道路、林地崩壊の対応、農地の発注はしたが、入札に手が上がらないという状況もあった。建設業協会とも相談して発注スピード・優先順位について検討している。なんとか三刀屋の農災を受けてもらえる体制をつくりたい。国に働きかけ、3年を超えても対象となるようにしたい。現地での調整が必要となる場合にはご協力をお願いしたい。来年度の作付けに向けて、不都合があれば総合センター等に相談して欲しい。災害によって、耕作放棄地の増加、耕作をあきらめられないようにしたい。

ご意見) 山陽地方の業者でも早急な対応をお願いしたい。

ご意見) 高齢者と若者にギャップがある。土木においても中間年齢層の人がいない。海外からの人材確保も円安で難しい。若い人の人材の登用が必要。最低賃金ではなくて、地域を担う人を採用するということは報酬を上げていく必要があると思う。地域自主組織はなくてはならない。専属して働けるような体制が必要だと思っている。

ご意見) 三刀屋の町部は範囲も広く世帯も多く自治会未加入者も200世帯以上ある。地域自主組織業務この報酬では代わる人材がいない。現場の職員は地域に出かけて住民の意見を収集している。行政として受け止め生活する最低限の報酬としてほしい。

ご意見) 旧福庭書店についてコミケアの取得を要望されたので、臨時総会を開き、地縁団体の解消に向けた手続きをしている。

市長) 地域自主組織職員の報酬については、どこの会合でもお聞きしている。いきなり上げることは難しい。適切な金額への見直しは必要であると考えている。しかし、もともと自主組織単位で決定いただくという大きな考え方があり、財政基盤が整っていないため独自の対応が難しいということも理解している。自主組織間で差が生まれている。どこまで行政ができるか。財政基盤の強化は必要。地域自主組織のみなさんは行政の下部組織ではない。あくまで対等の立場。対等の関係のお付き合いを職員に指示したい。行政として出来る限りの助言をしたい。指定管理の考え方を考えようと検討している。管理運営を変えていけるように努めたい。

ご意見) 天神頭首工の改修について、早期の事業実施と高額事業費にかかる受益者分担金の軽減・減免をお願いしたい。頭首工改修は R2.7.13 に要望した。R2.6 参議院議員の視察があり、診断は R 元年にやった。頭首工は S27 に設置された。毎年、大門町自治会は避難勧告。給下の農業用水のことについて市・県へお願いしてきたがまったく回答がない。

市は 5%、土地改良の負担金 1% 到底負担は難しい。これらについて何らかのいい方法を。固定堰から可動堰への変更でもよい。

ご意見) R 元年度市からの要請で児童クラブの運営委託を受け現在 3 年目。三刀屋小学校は教育委員会、児童クラブは子ども政策局と所管が別。コロナ禍において、学校と市の連絡がとれないと職員は難儀している。教育委員会と子ども政策局との横のつながりを強化してほしい。

ご意見) 児童クラブについて連携不足で困った。コロナが発生した時に学校からは全く情報がない。子ども政策局に聞くと教育委員会のことは知らないと言われる。

人権への配慮は重々承知しているが、その情報まで止められると、子どもの大事な命を預かっているのに。本日も小学校で発生したと他から聞いてどうしてよいのかと思っている。うまく連携しながら、やっていくのが一番良いとは思うが。

市長) 天神頭首工について、土地改良財産でやろうとすると、負担金の問題がある。土地改良事業は受益者の合意が必要。その見通しが見つからない状況。検討している。雲南県土整備事務所へも相談。新しい国の制度の創設もお願いしている。どちらの方向で行くのか、どの制度を使うかによるが相談をしていく必要あり。

私の今の考えとしては、一つの方向を持ちながら、ほかの方法も考えていきたい。避難勧告の多さの解消は取り組みたい。

児童クラブについては申し訳なく思っている。現場へ話がいったいないことについては内部で検討したい。情報把握と対応は関係部局で行っている。必要な方へのフィードバックができていなかったと認識した。

ご意見) 天神頭首工について。一宮には避難所がない。アスパルから小学校へ行く必要がある。できるだけ早く可動堰がよいとは思っているが、実施して欲しい。

ご意見) 雲見の里いいしでも、旧飯石小学校、体育館、校庭と管理をしているが、地域で管理することが難しくなっている。公共施設の後の管理どうすべきか。

ワクチンのコールセンターの電話はつながりにくい。雲南コミュニティ財団に支援を委託しているとはいえ、十分ではない。接種率を上げるためにも高齢者支援を手厚く。地域では賃金体系が少ないので自助努力しても限界がある。新しい若い力で頑張りたいと思っている。

永井隆生い立ちの家について、6 月に屋根がきれいになって多くの方が訪れるようになったがトイレ・電気がない。トイレの改修等してほしい。瑞風の観光コースにぜひ永井隆記念館を組み込んでほしい。今こそ平和を訴えていくべき。

市長) 生い立ちの家については、個別のお話の中で検討させていただきたいと思う。

ご意見) 瑞風バスの停車地として、永井隆記念館にぜひ立ち寄っていただきたい。このご時世に永井隆博士の思想は知っていただくべきと感じている。瑞風利用者の年齢層は高齢者であり、永井隆記念館への関心も高いのではないかと。

市長) ご意見は理解した。コースの設定は JR なので、記念館の活用について伝えていきたい。

ご意見) 地域で管理している市有施設等について雲見の里いいしでも、旧飯石小学校、体育館、校庭と管理をしているが、地域で管理することが難しくなっている。公共施設の後の管理をどうすべきか。

ご意見) 旧小学校のトイレは和式だが、子どもは使い方がわからず、高齢者には使いにくい。遊具の検査も対象外となっており、自主点検している。サッカーゴールは老朽化のため撤去したが、地元からは不満が出ている。旧小学校校の雨どいの劣化がひどい、体育館の雨漏りなかなか対応できないと市からは言われている。地域と市の考え方をすり合わせながら、進めていただきたい。市の財産の有効活用についてどのように思っているのか。

市長) 難しい話。民間企業へ譲渡する場合は譲渡以降の経費は事業者であるが、自主組織は民間なのか公なのか整理ができていない。修理の仕方については持ち帰って検討したい。

ご意見) コロナワクチン接種について正しい情報や最新の情報確認するためコールセンターにつながると良い。国の対応も変わってきている。可能な限りコールセンターの拡充をお願いしたい。

ご意見) :鍋山など、周辺地域の定住施策について聞きたい。具体的な対策が見えないが、何かお考えがあるか。鍋山の場合、住民の意見を行政へ全て伝えることはできていないが、大きな災害などの対応は地域自主組織で対応していきたい。かなり前から、人口増対策というと都会から人を呼んできて増やせばよいという考えではなく今住んでいる人が出ていかない環境づくりに力を入れてほしいと考えている。具体的にどういう施策で人を迎えようとしているのか。

山奥の生活を守るためにどうするか市長としてどのような考えでおられるのか。

地域をきれいにしたら、すみ分けができイノシシは出ないのではないかと。道路から 5メートルくらいを一括で森林組合に頼んできれいにしてみるとか。イノシシのしっぽを持ってこいではすまない問題ではないかと。

全体的な指定管理の考え方について。何のために指定管理に出すのか。経費の節減なのか。仕事の創出なのか。

市長) ワクチン接種予約コールセンターの対応について。今 5 名で電話機 10 台、繁忙期は 10 名で対応。月曜日の昼頃がかかりにくい。その時間を避けていただいた方がよいかも。今、5 回目接種の話が出ている。2 回目まで終わってれば 5 回目を打って良いなど、そのような情報をお伝えしていきたいと思う。

市長) 定住推進施策について、定住を進める上で、どうしても住宅の問題がネックになる。空き家の活用は必要である。また 4~5 戸のミニ団地の整備を今年度から始めた。周辺地域でも可能性があるとその地域に住み続けていただくことできる。高校卒業して市外に出て

いく人に帰ってきてもらうための UI ターンの施策は必要。田舎に住むことの豊かさを広めることを目指したい。鳥獣対策について捕獲・防除・餌を置かない。できるところを協働で行いたい。防除の補助金を昨年度から開始。防除と活用の大きな仕組みができれば捕獲が進むのではないかと。イノシシは捕獲しかない。おっしゃるような緩衝地帯をつくる事業が国であるがなかなか実施は難しい。今、鹿と猿が問題となっている。鹿は中国山地へ押し返すことを考えている。猿については対策がなく、来年度から専門機関と研究する取り組みを始めたいと思っている。

指定管理について。行政ではできない柔軟な対応を民間の活力を活かして、財産を活用するという事が重要だと思っている。

ご意見) 中野多目的集会センターについて。現在は休館で利用していない。中野の中心地であり、重要な施設。昨年のは災害時は交流センターの入り口が土砂で塞がれたため、代替地としてセンターを利用した。今後 10 年を考えると活用していくことが有効だと考えている。笑んがわ市の施設老朽化もあり集会センターをその代替施設にしたい。

2 つ目は公共地の草刈り管理について。市道・農道の草刈り管理を行っているが、高齢化により、難しくなっている。市からシルバー人材センターへ委託しているが、大型機械を購入し貸し出し等してはどうか。奥出雲は結構きれいな道が多い。町を上げた取り組みに道路の管理も必要と思う。

市長) 施設の利活用について。位置づけをどうしていくか。将来的な利活用をどうしていくかということについて、検討が必要。

草刈りについて。地域の皆様のお力で出来ている。地域によって実施が難しいことは承知している。機械や新たな技術など検討中。公共でやるとなると市全体でプラス 5 億円くらいになってしまう。何とか新しい制度、考え方を検討しているので発表したい。高木の伐採は道路上までしか切れない。本当は生えている所から伐採できるとよいが、所有者の承諾が必要。